

(規則) 様式第7(第7条関係)

## 政務活動費成果報告書

令和5年10月18日

犬山市議会

議長 柴田浩行様

議員名 諒訪毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和5年 10月 11日(水)～令和5年 10月 13日(金) ( 2泊 3日)
(2) 場 所	第85回全国都市問題会議 会場：青森県八戸市公会堂
(3) 形 態	会派(公明クラブ)：その他( )
(4) 内 容	10月12日(木) 9:30～ 基調講演 「アートの役割ってなんだろう？」東京芸術大学 日比野克彦氏 3つの捉え方で講演。1つ目に、アートとは「生きる力」、2つ目にアートとは「多様性ある社会を築く基盤」、3つ目に、アートとは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」との視点からの講演であった。次に、主報告として、「八戸市の文化・スポーツによるまちづくり」八戸市 熊谷市長 地域資源を活かす拠点とネットワークをつくること、関心やテーマに基づくコミュニティと当事者を増やすことなどの視点からの講演であった。「まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から生まれる」文化事業ディレクター 吉川由美氏より、2011年に八戸市が中心街再生の起爆剤とすべく開館した「八戸ポータルミュージアム はっち」を中心とした講演。他に、「スポーツツーリズム」について、「プロスポーツクラブの有効活用」についての講演があった。
(5) 成果・提言	長野県東御市長のから、「欠点を個性に」との題で講演され、平地が少なく、1,500mの標高差が市の欠点と捉えていたが、標高差を活かし、様々なスポーツの「高地トレーニング」の場として取り組み、多くのアスリート達のオリンピック競技前等のトレーニング場として利用されている。犬山市でも地域の欠点を、欠点として捉えず、新たな取り組みが出来るよう、検討すべきである。



(規則) 様式第7(第7条関係)

## 政務活動費成果報告書

令和5年10月18日

犬山市議会

議長 柴田浩行様

議員名 諏訪毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年月日	令和5年 10月 11日(水)～令和5年 10月 13日(金) ( 2泊 3日)
(2) 場所	第85回全国都市問題会議 会場：青森県八戸市公会堂
(3) 形態	会派(公明クラブ)：その他( )
(4) 内容	10月13日(金) 9:30～パネルディスカッション 「八戸の独自性がうみだしてきたもの」合同会社代表取締役 今井和佳子氏。2011年にオープンした施設「八戸ポータルミュージアムはっち」を例にオープンまでに関わったアーティストの郷土芸能とアートの関係性を話された。「地域活性化におけるスポーツの役割とその変化」拓殖大学商学部 松橋教授1993年に開幕したサッカー競技のJリーグを例に地域との関りを話された。「スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出」静岡県沼津市 頼重市長スポーツ以外のアニメで民間の活動のサポートとして、広報紙やSNSを通じて事業者などの取り組みを発信し作品への応援の機運醸成と沼津の魅力のPR発信を実施していると、あった。「文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部」京都府綾部市 山崎市長2011年度に京都府で初めて国民文化祭が開催され、合唱団体が集った。これを一過性のものとせず、「合唱のまち・綾部」として多くの合唱グループが誕生。
(5) 成果・提言	沼津市では、1957年に行われた国体のフェンシング競技会場になったことを契機に、市内の複数の高校でフェンシング部が創設され、その後官民一体となってフェンシングの裾野拡大、大会・合宿の誘致に取り組まれ、近年では全国フェンシング選手権大会を沼津市催された。犬山市でも、スポーツ競技団体などに大会、合宿の誘致を積極的に働きかけ、きっかけづくりをすべきである。